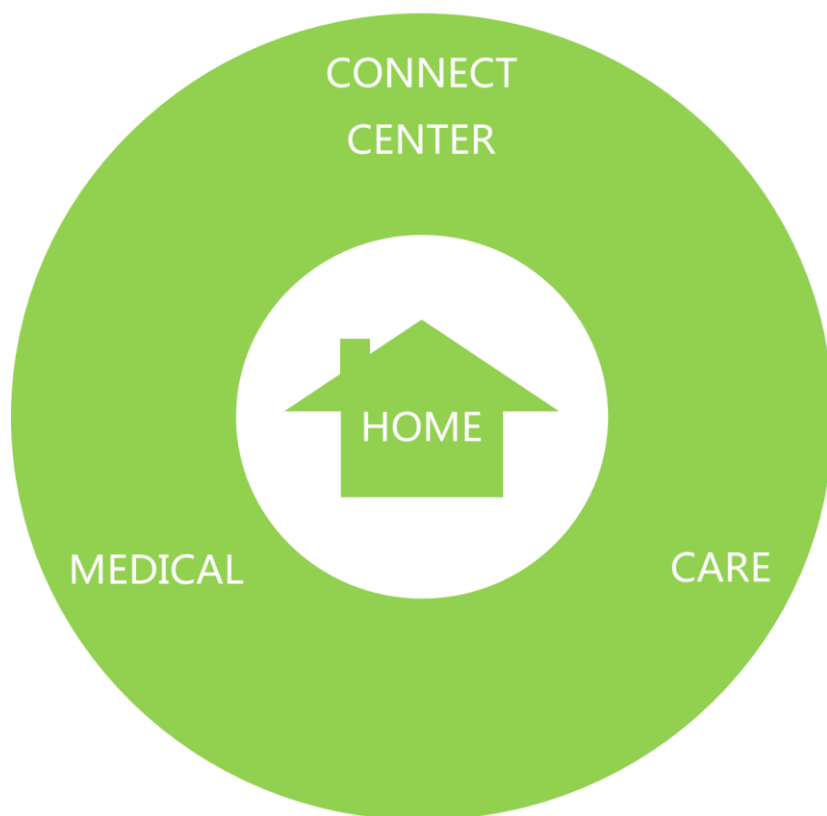


令和2年度 西東京市における 在宅医療・介護連携推進事業等 実施状況報告書



令和3年7月20日

西東京市 健康福祉部 高齢者支援課

目次

1	地域包括ケアシステム推進協議会	1
(1)	市民との協働啓発部会	1
(2)	連携のしくみづくり部会	2
(3)	在宅療養支援窓口部会	2
(4)	受け皿づくり部会	2
(5)	後方支援病院推進部会	2
(6)	認知症支援部会	2
2	在宅療養連携支援センター「にしのわ」	3
(1)	活動実績	3
(2)	相談について	4
3	在宅療養後方支援病床確保事業	7
(1)	利用実績	7
4	多職種連携研修	9
(1)	多職種研修（基礎研修）	9

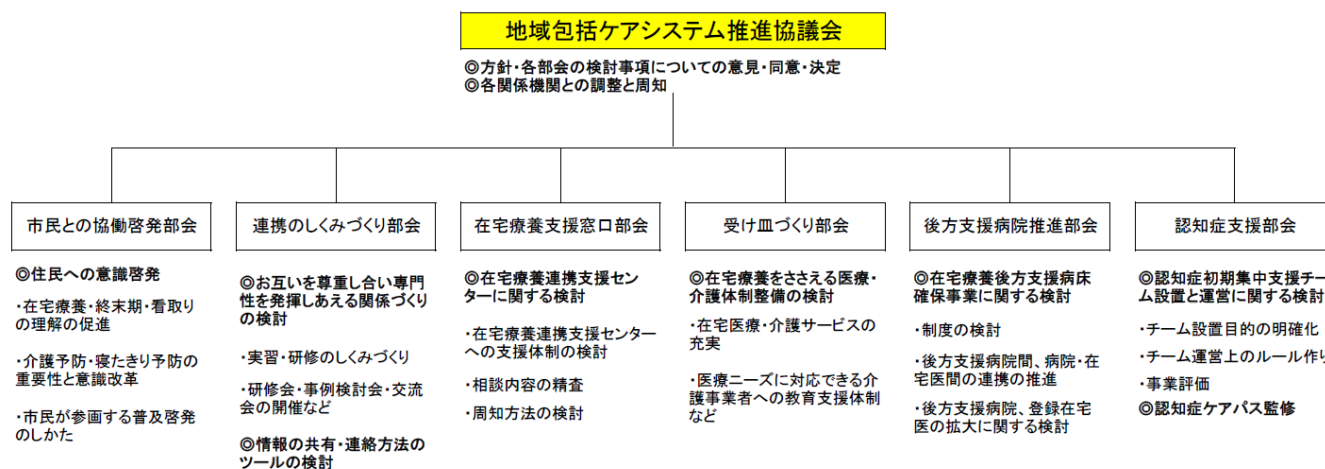
1 地域包括ケアシステム推進協議会

市内各団体の代表等が参加する会議であり、令和2年度中は、以下のとおり計2回の会議を開催した。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和2年 8月19日（水）	19時00分から 20時04分まで	西東京市役所 田無庁舎 202・203会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和元年度在宅療養調査結果について ・救急医療情報キットについて ・福祉丸ごと相談窓口の新設について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・今後の会議の開催方法について
第2回	令和3年 3月31日（水）	書面開催	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における各事業の進捗状況について ・令和3年度に向けての部会編成について

また、個別具体的な内容を検討する場として、6つの部会を設置している。（図1）

図1 地域包括ケアシステム推進協議会組織図（令和3年3月31日時点）



それぞれの部会の議題、会議の開催状況等は以下のとおり。

(1) 市民との協働啓発部会

この部会の主な議題は、在宅療養を始めとする地域包括ケアシステムに関して市民・専門職へ啓発することである。

また、6つの部会の中で、唯一市民が部会員として参加している部会である。

令和2年度は、人生を振り返りながら人生の最終段階を話し合えるツールとして人生ノートを検討し、発行した。

今後は、人生ノートの普及・活用をしていく。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和2年 12月11日（金）	19時30分から 21時13分まで	イング第3会議室	・人生ノートの作成について

(2) 連携のしくみづくり部会

この部会の主な議題は、地域の多職種連携を推進することである。

令和2年度は、「4 多職種連携研修」に記載のとおり、多職種研修を1回開催した。

今後は、これまで構築した3つの研修を引き続き検討・実施する他、情報の共有・連絡方法のツールを検討していく予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和2年 12月22日（火）	19時00分から 20時25分まで	西東京市役所田無庁舎 102会議室	・令和2年度オンライン多職種研修について ・オンライン会議について

(3) 在宅療養支援窓口部会

この部会の主な議題は、後述する在宅療養連携支援センターに関することである。

また相談件数等については、「2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」」で述べる。

今後は、後方支援病院推進部会と統合され、主に入退院の連携等について検討する予定である。

(4) 受け皿づくり部会

この部会の主な議題は、市民が安心して在宅療養できる体制づくりと、各種資源や人材の確保に関することである。

今後は、引き続き看取りを支援するための体制整備についてさらに検討する予定である。

(5) 後方支援病院推進部会

この部会の主な議題は、後述する在宅療養後方支援病床確保事業に関することである。

今後は、在宅療養支援窓口部会と統合され、検討を行う予定である。

(6) 認知症支援部会

この部会の主な議題は、認知症の支援に関することである。

令和2年度は、認知症初期集中支援チーム、認知症検診推進事業について議論を行った。

今後は、認知症施策についての共有や検討を行う予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和2年 8月21日（金）	19時30分から 21時00分まで	西東京市役所田無庁舎 502会議室	・認知症検診推進事業について ・令和2年度認知症キャンペーン月間について
第2回	令和3年 3月19日（金）	書面開催	—	・認知症検診推進事業について ・認知症初期集中支援チームについて

2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」

(1) 活動実績

にしのわの活動件数は合計169件である。(図表2)

なお、内訳としてヒアリング・取材等が最も多く、次に先に述べた地域包括ケアシステム推進協議会を始めとする市内会議への出席が多くなっている。

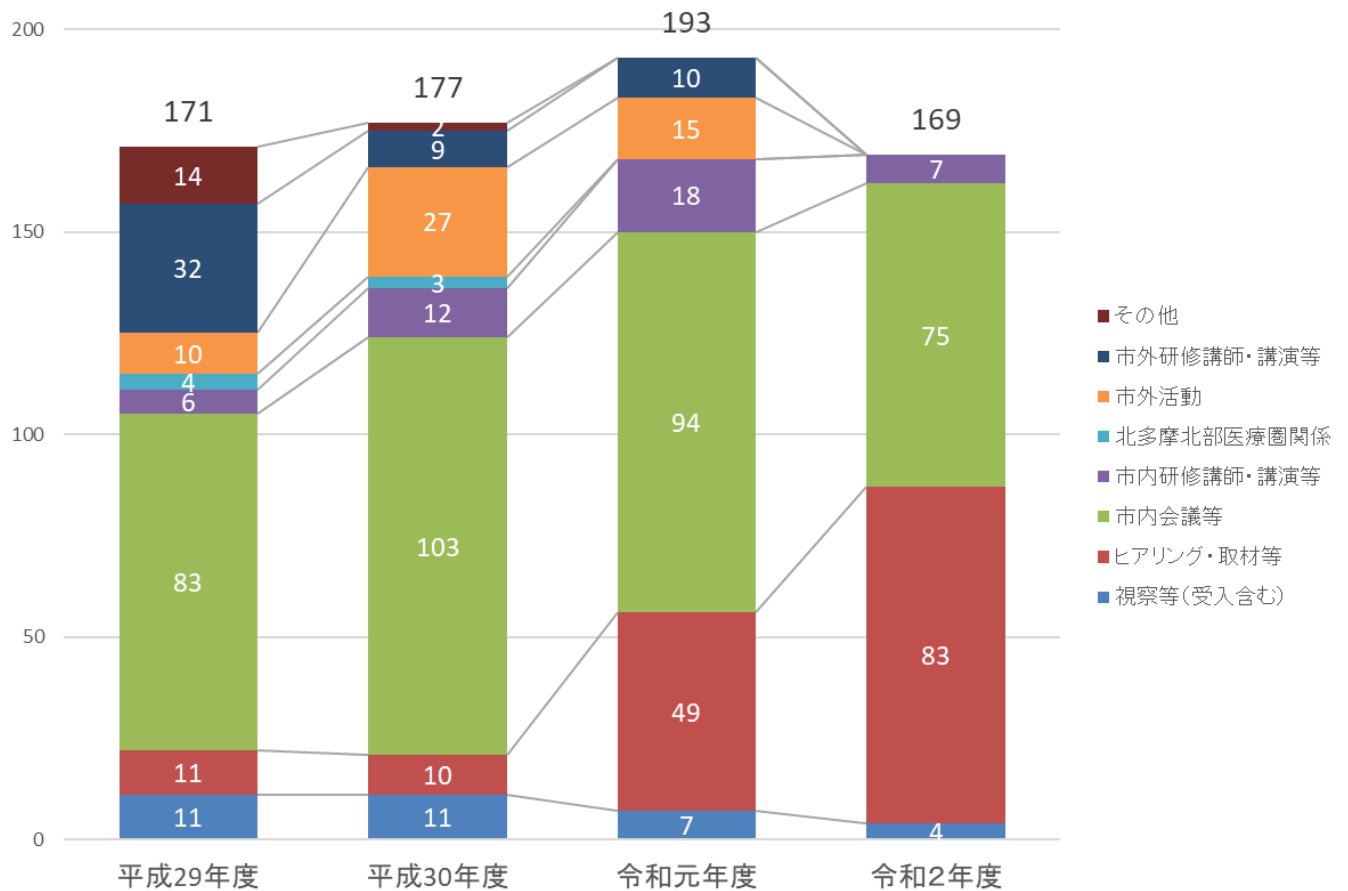
図表2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」活動実績（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
視察等（受入含む）	11	11	7	4
ヒアリング・取材等	11	10	49	83
市内会議等	83	103	94	75
市内研修講師・講演等	6	12	18	7
北多摩北部医療圏関係	4	3	0	0
市外活動	10	27	15	0
市外研修講師・講演等	32	9	10	0
その他	14	2	0	0
合計	171	177	193	169

活動件数(件)

にしのわ活動実績年度別推移



(2) 相談について

にしのをへの相談について、内容、相談者（にしのをに相談した機関）、連携先（にしのをがつないだ機関）別の実績は以下のとおり。

ア 相談内容別

にしのをの相談内容の延べ件数は合計210件である。（図表3）

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、相談内容が複数の項目にわたっている場合は重複して集計している。

また、内訳として医療情報の問い合わせが最も多く、次に入退院連携に関する相談、連携に関する相談が多くなっている。

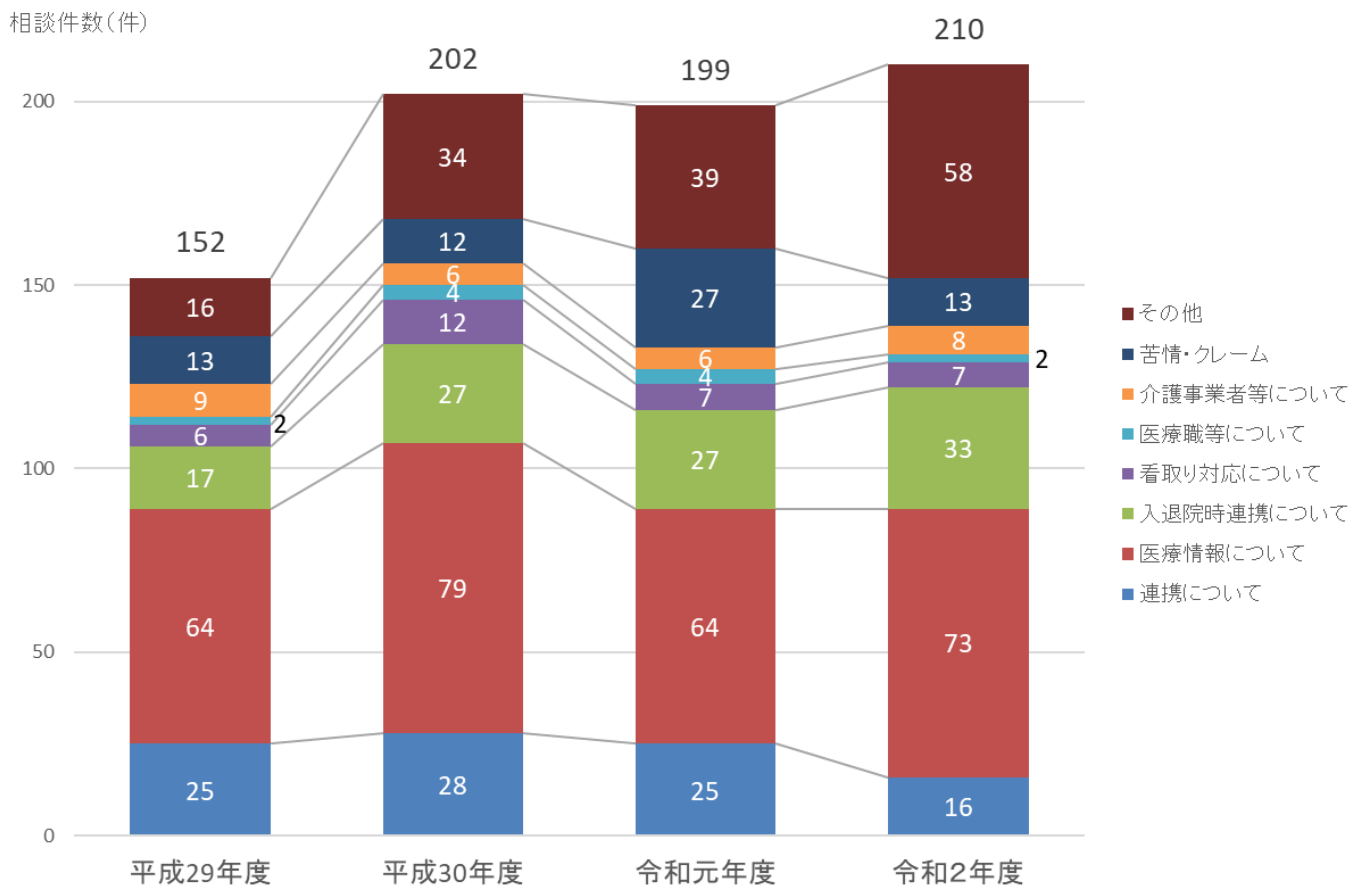
その他については、医療保険・介護保険などの制度に関する相談が最も多かった。

図表3 在宅療養連携支援センター「にしのを」相談内容（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
連携について	25	28	25	16
医療情報について	64	79	64	73
入退院時連携について	17	27	27	33
看取り対応について	6	12	7	7
医療職等について	2	4	4	2
介護事業者等について	9	6	6	8
苦情・クレーム	13	12	27	13
その他	16	34	39	58
合計	152	202	199	210

にしのを相談実績年度別推移



イ 相談者

にしのわが相談を受けた関係機関は合計140件である。(図表4)

また、内訳としてケアマネジャーからの問い合わせが最も多く、次に行政が多くなっている。

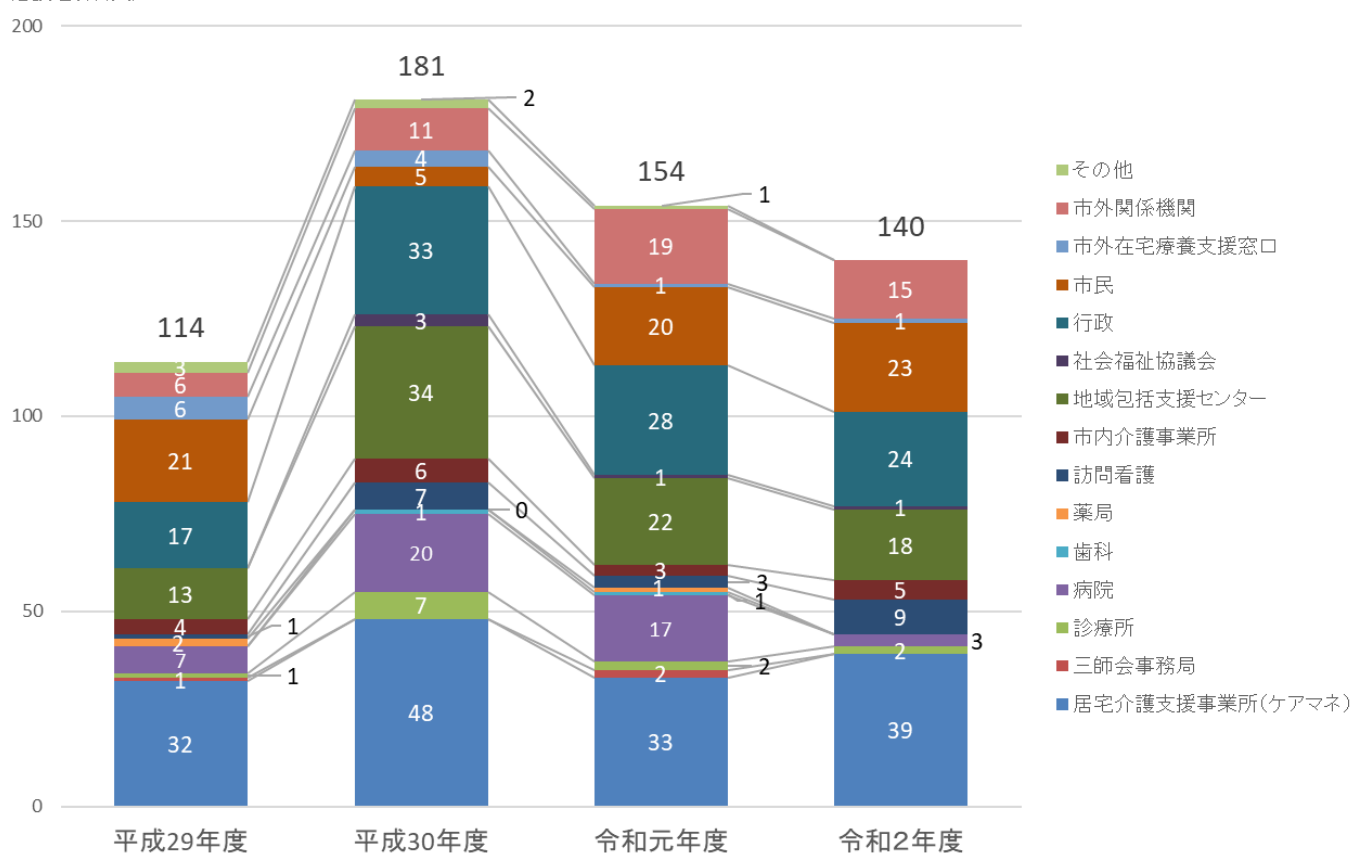
図表4 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談者(平成29年度以降)

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	32	48	33	39
三師会事務局	1	0	2	0
診療所	1	7	2	2
病院	7	20	17	3
歯科	0	1	1	0
薬局	2	0	1	0
訪問看護	1	7	3	9
市内介護事業所	4	6	3	5
地域包括支援センター	13	34	22	18
社会福祉協議会	0	3	1	1
行政	17	33	28	24
市民	21	5	20	23
市外在宅療養支援窓口	6	4	1	1
市外関係機関	6	11	19	15
その他	3	2	1	0
合計	114	181	154	140

相談者数(人)

にしのわ相談者年度別推移



ウ 連携先

にしのが関係機関につないだ件数は合計70件である。(図表5)

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、連携先として複数の機関につなげた場合は重複して集計している。

また、内訳として行政が最も多く、次に病院が多くなっている。

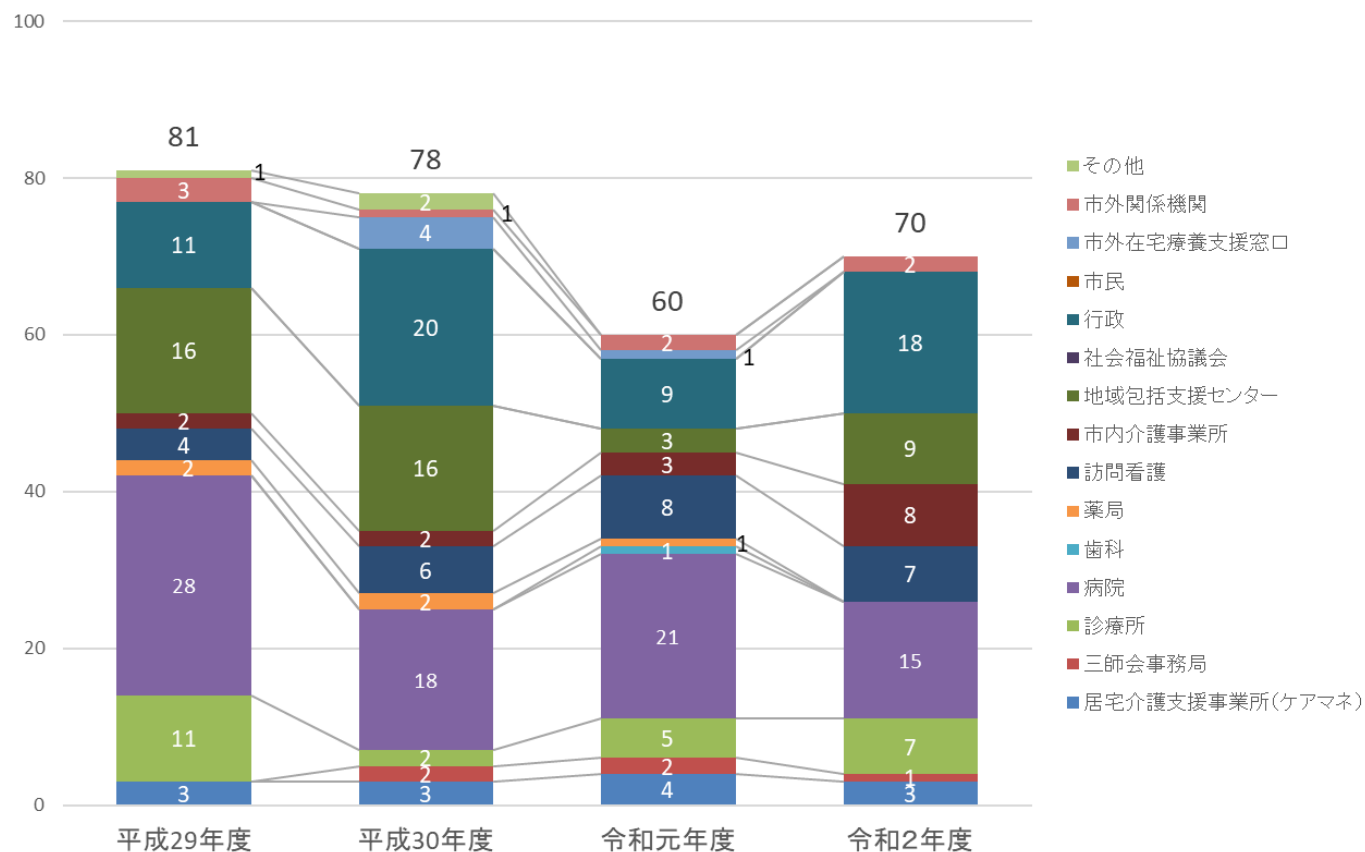
図表5 在宅療養連携支援センター「にしのが」連携先（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
居宅介護支援事業所（ケアマネ）	3	3	4	3
三師会事務局	0	2	2	1
診療所	11	2	5	7
病院	28	18	21	15
歯科	0	0	1	0
薬局	2	2	1	0
訪問看護	4	6	8	7
市内介護事業所	2	2	3	8
地域包括支援センター	16	16	3	9
社会福祉協議会	0	0	0	0
行政	11	20	9	18
市民	0	0	0	0
市外在宅療養支援窓口	0	4	1	0
市外関係機関	3	1	2	2
その他	1	2	0	0
合計	81	78	60	70

連携先(件)

にしのが連携先年度別推移



3 在宅療養後方支援病床確保事業

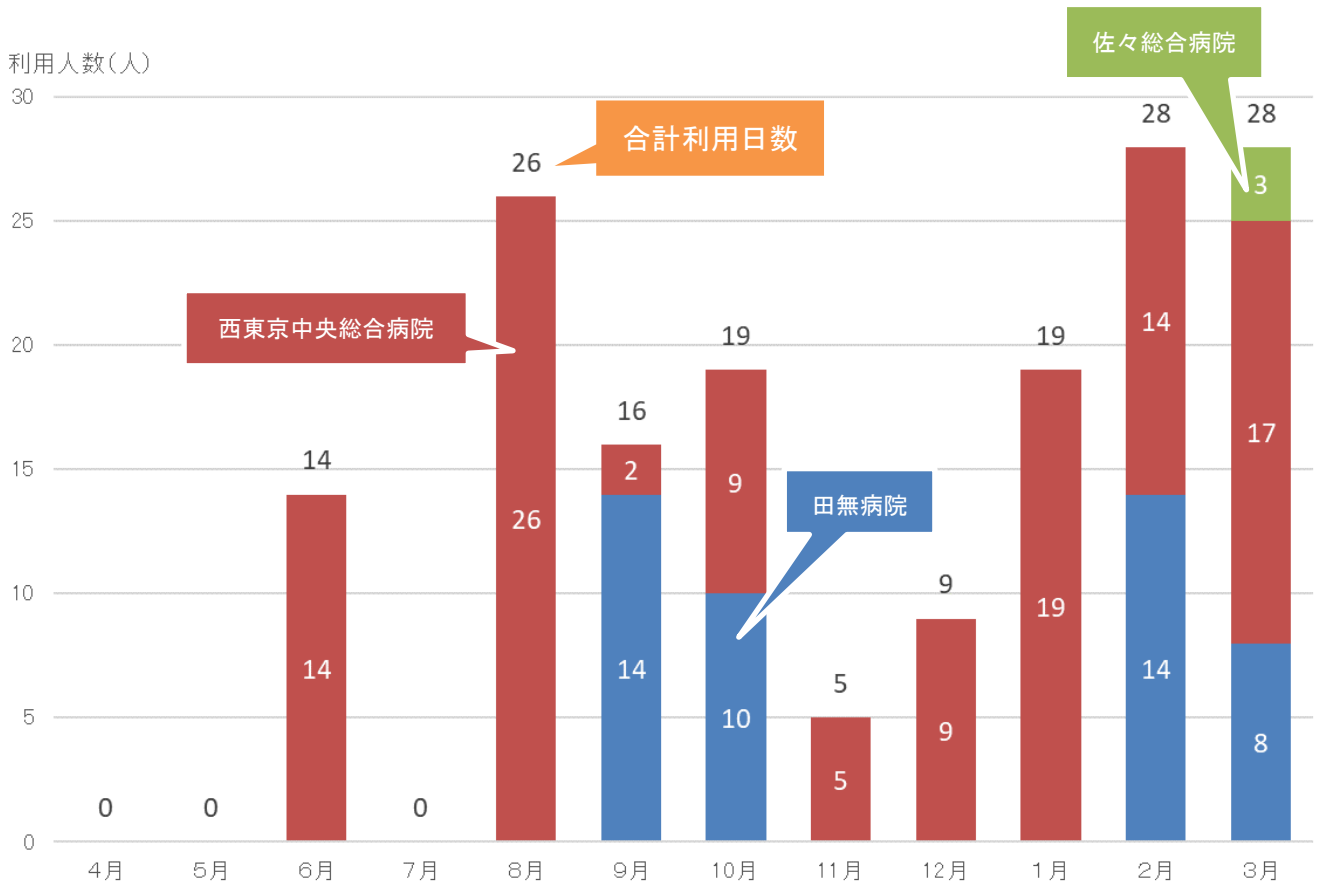
(1) 利用実績

利用延べ日数は合計164日である。(図表6)

なお、8月、2月、3月の利用が多くなっている。

図表6 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数(平成2年4月1日~令和3年3月31日)

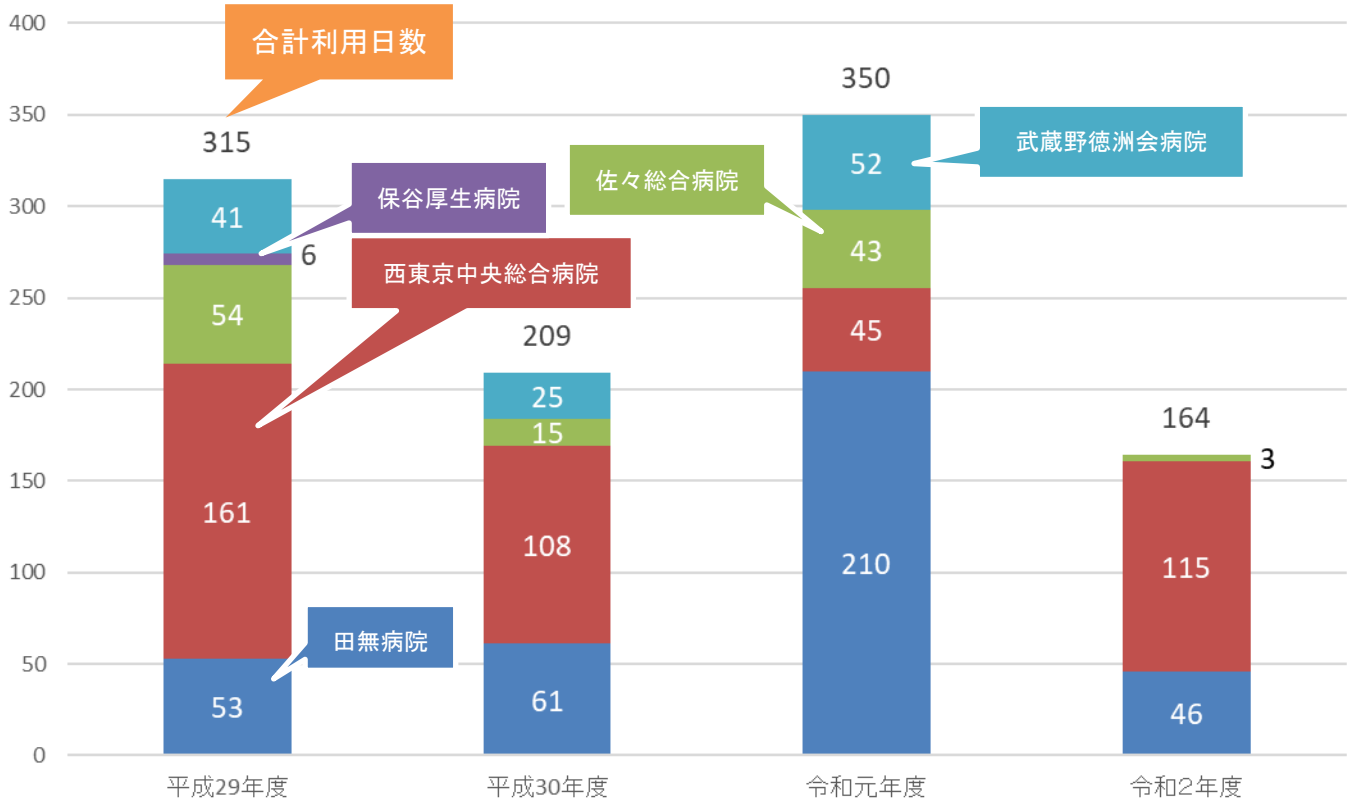
年	月	田無病院	西東京中央総合病院	佐々総合病院	保谷厚生病院	武蔵野徳洲会病院	合計
令和2年	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	14	0	0	0	14
	7月	0	0	0	0	0	0
	8月	0	26	0	0	0	26
	9月	14	2	0	0	0	16
	10月	10	9	0	0	0	19
	11月	0	5	0	0	0	5
	12月	0	9	0	0	0	9
令和3年	1月	0	19	0	0	0	19
	2月	14	14	0	0	0	28
	3月	8	17	3	0	0	28
	計	46	115	3	0	0	164



図表7 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数の年度推移

年度	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
平成29年度	53	161	54	6	41	315
平成30年度	61	108	15	0	25	209
令和元年度	210	45	43	0	52	350
令和2年度	46	115	3	0	0	164

利用人数(人)



4 多職種連携研修

(1) 多職種研修（基礎研修）

この研修は、西東京市の地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状等を知り、在宅の高齢者を支援するチームケアを担い、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するために、まず知り合い、つながることを目的とする。

対象者は、これまで多職種が参加する研修等にあまり参加したことがない専門職。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、市公式YouTubeチャンネルに講義動画を掲載し視聴する形式とした。

写真8 第4回多職種研修（講義中の動画）



（対談中の動画）



ア 表題

第4回西東京市多職種研修～ALL NISHITOKYO 2020～

イ 研修期間

令和3年3月5日（金）～同月19日（金）

ウ 掲載場所

西東京市公式YouTubeチャンネル

エ 受講者数

308名

グラフ9 第4回多職種研修参加者数

